

R3 白川郷学園の働き方改革

H29 年度から！



Q なぜ「働き方改革」が言われているのか？

【文部科学省より】

「・・・文部科学省では、教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、学校における働き方改革を進めております。」

日本全国の過労死、長時間労働の増加から・・・

1、教師の健康への影響

過労死、精神疾患

2、教育への影響

日々疲れている、ゆとりがないと・・・

「よい授業、教育ができない」

「AI等の時代になりつつある今、教師がクリエイティブに深く思考する時間をもてないで、子どもの思考力や想像力を高める教育ができるか？」

「自己研鑽等の学びの時間がとれない。」

3、人材獲得への影響

「教員は大変な仕事」=優秀な人材は、教員にはならない。

「人は3つのことから学ぶ」
①本 ②旅 ③人
(出口治明 『知的生産術』より)
心の余裕・幅広い視野が大切！

Q 働き方改革とは何か？

「カット、カット！」「早く退勤！」ではない。「どんな子どもたちを育てるために、どんな教育がしたいか。そのために何を増やし、何を減らすのか！？」を考え、実践すること。「働き方や学校の業務を見直すことにより、教職員の負担の軽減を図り、限られた時間のなかで教職員が健康でいきいきと働くことができ、子ども達一人一人としっかりと向き合うことができるように。」(教職員の働き方改革プラン2020より)

今年度の学園のスマイルヘルスプロジェクト

1、職員の意識改革・スキルアップ

・水曜日 OR「8」がつく日は早く帰る日！18:00に退校する！

→そのために、見通しをもって仕事をする。

・初任研の講話から→スキルアップ＝業務の効率化につながる！

2、業務の効率化

・終礼前 15:40～15:45「自分の机上一斉5分間整頓」

→整理整頓された執務環境の維持。

・印刷室、文具・物品など、収納場所の見える化&常に整理整頓。

・会議の時間の明示。例「目標終了時刻は〇〇時です。」

3、スマイルヘルスプログラム(心身の健康)

ゴール:先生方が一年間、心身共に健康で楽しく働くことができる！(白川郷学園)

・スマイルヘルスチェック:健康診断の確実な受診、精密検査の受診、白川村「健康ポイント事業」の参加→自身の健康意識の向上を図る

・スマイルヘルスパアアクティビティ:職員のペアでの楽しい取り組み(目標決めと実践)

・スマイルヘルススポーツ:1学期-お楽しみ球技大会 夏休み-共済会の事業の活用
2学期-白川村ソフトバレー大会に出場 3学期-お楽しみ会

目標退校時間 19時
30分を超えたら、必ず申請をしてください。時間外 45時間以内・勤務時間の記録は、法律で決まっています。割り切ってやっていくシビアなこと・楽しい取組と分けて考えていくことが大切です！